

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年3月30日

事業所名:こども発達支援センターwill

保護者数(児童数):28名 回収数:24名 割合:86%

環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	2	1	少し狭い、運動スペースは狭く感じる	お子さまや保護者様が快適に過ごせるよう、スペースの確保や備品の配置などにおいて、可能な限り工夫致します。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	1	1		職員の専門性を高めるため、内部、外部の研修等を通して自己研鑽に努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	19	3	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23		1		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	22				療育や面談等で保護者様のご意見を十分にお聞き取りさせて頂き、個々のニーズを支援に繋げることができるよう努めます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21	2	1		保護者様と立案した児童発達支援計画又は、放課後等デイサービス計画に基づいて療育プログラムを立案し、プログラムの内容について保護者様と共有できるように丁寧に説明を行うことを心がけます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	1			
	8	活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	22	1	1		毎回、お子さまの興味関心や好みを探りながら、療育プログラムを立案するよう努めます。又、立案した療育プログラムの意図や目的を保護者様と共有できるように、説明を行うことを心がけます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5	9	4	
適切な支援の提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	24				契約内容の説明会等で、十分に説明しますよう努めます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	23			1	毎回の療育で、丁寧に説明を行うよう心掛けて参ります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	21	1		2	児童発達支援計画又は、放課後等デイサービス計画に基づき、家族支援についての目標の共有を行うよう努めます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	24				療育の中で毎回保護者の方へお子さまの特性理解や、支援方法について、フィードバックしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24				
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	3	1	5	親の会など、保護者様同士の交流の場の情報等を提供させて頂くよう努めます。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23			1	保護者様からのご意見、ご質問等は、ご遠慮なくお申し出頂けるよう、スタッフからお声かけする機会を設けます。また、スタッフ間での連携を図り、できるだけ迅速かつ丁寧に対応ができるような体制を整えます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21			1	連絡シートや療育相談等を、保護者様のニーズに応じて活用していただけるよう、周知に努めます。

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16		1	5		事業所での活動を紹介している事業所新聞や、法人の機関誌、親の会のかつどうなどについて、必要に応じて周知するよう努めます。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	20			2	注意されていると思うが十分かはわからない	契約内容の説明会等で、十分に説明しますよう努めます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6	3	2	11	訓練は？	お子さまの特性から、全員への実施はしていませんが、一部のお子さまに対し、避難訓練を実施しました。今後はその際の様子などを事業所で報告するなど、実施の状況を皆様に周知いたします。職
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	5	13	訓練は・	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	18		2	2	言葉がないので何とも言えませんが嫌がらずに来れています	お子さまの興味関心や好みを探り、プログラムを工夫するよう努めます。
	23	事業所の支援に満足しているか	20		2			

その他 ご意見

・家庭内での困りごとや過ごし方など子どもと親が相互にストレスなく関わりあえるように支援を考えてくれていると思います。・子どもの好きなこと、得意な事を理解し、伸ばす療育がされていて子どもが療育をうけることを楽しみにしています。・次々と変化していくこともありますが、その都度アドバイスをしてくれる。・保護者研修の中で支援の家庭でのやり方を教えて頂いたことで実践できた。・支援計画を時間をかけてたてていただいているのを感じます。

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。